ひ び き

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
<めざす姿>認め合い 自分で考え チャレンジする子
多治見市立共栄小学校 R7.10.31

全力のチャレンジを互いに認め合った運動会

共栄小校長　加藤 隆史

10月 18 日（土）に運動会を実施することができました。

今年の運動会スローガンは「全力を出し切ろう」でした。当日は、さわやかな青空とはいえませんでしたが、閉会式まで雨が降ることもなく、過ごしやすい気候の中、子どもたちは、様々な場面で全力を出し切ろうと元気いっぱいに活動し、子どもたちも、職員も、そして保護者や地域の皆様も笑顔あふれる運動会になりました。

高学年演技　　共栄ソーラン

中でも、低・中・高学年に分かれての演技は、見ているものの心を引きつけました。猛暑日が続く９月から、子どもたちはエアコンをかけた教室、体育館で練習を行ってきました。また、10月に入ると体育の時間のほとんどをこの演技に費やしてきました。さらには、それぞれの学年ブロックの職員は夏休み中から、音楽や振付について幾度となく集まって熱心に話し合いを重ねてきました。校長としては、こうした取組も思い出され、当日の全力を出し切って表現する姿をみていると感慨はひとしおでした。特に高学年の共栄ソーランは、「共栄小のリーダーとして、運動会を絶対に成功させたい」という強い思いを感じることができました。その決意は、運動会の係活動でも発揮されました。わずか2回の係会の中で、役割分担を行い、当日の運営においてもリーダーとしてふさわしい活動ぶりが目立っていました。こうした姿勢はしっかりと1～4年生に受け継がれていくことでしょう。

中学年演技　共栄フラッグ 2025

今年度、共栄小は「認め合い」「自分で考え」「チャレンジする」という三つの合言葉を大切にしています。運動会に向けて一人一人、そして学級、学年で様々な「チャレンジ」をしてきました。そのチャレンジをお互いに「認め合い」次の活動への意欲につなげていってくれることを期待したいです。

低学年演技
安心してください　かわいいだけでいいですよ

最後になりましたが、保護者や地域の皆様には、運動会前の草取りや運動会後のテントの片付けに多くの方がご協力いただきました。また、運動会中は大きな声援や拍手を送っていただきました。子どもたち、教職員にとって大きな励みになりました。これからも支援・ご協力のほどよろしくお願いします。

閉会式後の赤・白に分かれての解団式では、応援団からは団員へ、団員からは応援団にそれぞれ拍手で認め合う姿が素敵でした。